

コダック 合同会社

エンタテインメント イメージング本部

2026 年 4 月

EI-2605

コダック、映画用フィルムのラインアップを拡充

「コダック VERITA 200D カラーネガティブ フィルム」を発表

米国ニューヨーク州ロチェスター、2026 年 4 月 10 日発：

イーストマン・コダック社は、新たな映画用カラーネガティブ フィルム 「コダック VERITA (ヴェリタ) 200D 5206 / 7206」の提供を開始すると発表しました。本製品は、デーライトにバランスされた露光指数 200 の中庸感度フィルムで、65mm、35mm、16mm の各フォーマットで展開されます。

脚本家・監督・プロデューサーのサム・レヴィンソンおよび撮影監督のマルツェル・レーブ (HCA, ASC) との緊密な連携のもとで開発された「VERITA 200D」は、HBO オリジナルドラマ「ユーフォリア/EUPHORIA」シーズン 3 (4 月 13 日より U-NEXT で独占配信) において独自の映像表現を実現するため、新たな映画撮影用カメラフィルムとして製品化されました。また本フィルムは、数年にわたり世界各国の撮影監督によってトレードテストが重ねられてきました。

VERITA 200D は、豊かなハイライト描写、高い色彩の飽和度、引き締まった黒、そして温かみのある自然なスキントーンを実現します。また、コダック VISION3 カラーネガフィルムと比較して、ダイナミックレンジはやや抑えられている一方で、非常に豊かな階調表現を備え、よりクラシカルで映画的なルックをもたらします。

サム・レヴィンソンとマルツェル・レーブは、「ユーフォリア/EUPHORIA」シーズン 3 の制作において、35mm および 65mm フォーマットで合計 100 万フィート以上の VERITA 200D を使用しました。本作は全編がコダック フィルムで撮影されており、ラージフォーマットの 65mm フィルムを大規模に使用した初のテレビ作品でもあります。

「VERITA は、カラー映画の黄金時代を想起させるような豊かで濃密なトーンカーブを備えながら、現代のネガフィルムが持つ柔軟性とラチチュードも兼ね備えています」と、マルツェル・レーブは述べています。

Motion Picture and Entertainment

さらに、正式発表に先立ち、多くのコマーシャルやミュージックフィルムでも VERITA 200D が使用されているほか、A24 製作の新作『The Death of Robin Hood (原題)』（脚本・監督：マイケル・サルノスキ、主演：ヒュー・ジャックマン、撮影：パット・スコラ ASC）でも採用されています。

イーストマン・コダック社のモーションピクチャー&エンタテインメント部門責任者、ヴァネッサ・ベンデッティは次のように述べています。

「アンチハレーションアンダーコート (AHU) を採用した新しいフィルム構造で VISION3 を進化させたことに加え、VERITA 200D の製品化は、映画制作者に最高品質のクリエイティブツールを幅広く提供し続けるというコダックの継続的な取り組みを明確に示すものです」

VERITA 200D 5206/7206 は、特別仕様の映画用フィルムとして、コダックの営業担当者を通じて映像制作目的のお客様に限り提供されます。日本での発売時期および価格等は営業担当者までお問い合わせください。



Motion Picture and Entertainment

###

【コダックについて】

コダック (NYSE: KODK) は、商業印刷ならびに先端材料、化学薬品分野に特化した世界的な大手メーカーです。130 年以上におよぶ研究開発で 79,000 の特許を取得しており、世界が見たり創造したりするものを強化するテクノロジーとサイエンスの力を信じています。当社の革新的で受賞歴のある製品は、お客様第一のアプローチとの融合により、世界中の商業印刷会社のパートナーとして選ばれています。コダックは、持続可能な印刷ソリューションの開発において業界をリードするなど、環境への配慮に取り組んでいます。コダックの詳細については、[Kodak.com](https://www.kodak.com) にアクセスしてください。

【本件に関するお問い合わせは下記へお願い致します】

カスタマーサービス セクション
TEL: 050-3819-1470
E-mail: motionjp@kodak.com